



エコ・そうか

■ 人と自然が共に生きるまち そうか ■

6月20日号

2013/平成25年

発行 草加市市民生活部環境課
〒340-8550
草加市高砂1-1-1
☎ 048-922-0151(代表)
環境推進係 922-1519
公害対策係 922-1520
FAX 048-922-1030

エコライフ チェックシート

チェック項目 いくつできますか？

電気・ガス	1	使わないときは、コンセントからプラグを抜きます。(充電器、パソコン、電子レンジ)
	2	使っていない部屋の明かりはこまめに消します。
	3	エアコン等の設定温度は夏は28度、冬は20度を目安にします。
	4	他の用事をするときは、テレビを消します。
	5	冷蔵庫の扉はすぐ閉めます。
	6	お風呂はさめないうちに、みんなで続けて入ります。
水道	7	水やお湯を流しっぱなしにしません。(歯磨き、シャワーなど)
	8	お風呂の残り湯は有効に使います。(洗濯、洗車、庭の水やりなど)
	9	シャンプーや台所用洗剤は使いすぎません。
買い物とごみ	10	レジ袋は、もらいません。
	11	野菜などの食料品は近くの産地のものを買います。
	12	ごみの出し方(分別収集、収集日時など)を守ります。
	13	ごはんやおかずを、残さず食べます。
外出	14	出かけるときは、水筒やマイボトルを持っています。
	15	車の使用を控え、徒歩や自転車、電車、バスを利用します。
自然	16	庭やベランダで木や草花を育て(水やりなど)、緑を大切にしたり、身近な生きものたち(野鳥、昆虫、野草など)に目を向けて、観察会・散歩などで地域の自然にふれる時間を作ります。

みんなの行動でつくる
地球にやさしい低炭素なまち
そうか
でやる！ところからはじめよう！！

草加市では、「草加わが家の環境宣言」と題して、市民の皆さんが日常生活の中で省エネやごみの減量などの環境にやさしい生活に取り組むことができるよう、左記のチェックシートを作成して公開しています。

地球温暖化を進めているのは、おもにCO₂です。便利で豊かな私たちのライフスタイルは大量のエネルギーや資源を消費することでCO₂をつくり出しています。

チェックシートを活用して、CO₂削減のために、できることから取り組みましょう。皆さんの一人ひとりの行動が「低炭素なまちそうか」をつくります。

※チェックシートは、環境課窓口、または草加市ホームページから入手できます。

「草加わが家の環境宣言」に取り組んだ市民の声

- ・環境にも良く、光熱費の節約にもなったので良かった。
- ・「何をすればエコ？」という部分が見えたのが良かった。
- ・今までいかにムダ使いをしていたかよくわかりました。
- ・野菜の産地は近くのものという考えが無い事を気付かされました。
- ・家族全員で取り組めたのが良かった。子供もエコに対する意識が高くなりました。
- ・ちよつとした心掛けで節約につながる事が分かり、無理なくエコライフに取り組むことができました。
- ・やりだしたら、意外に習慣になり、楽になりました。
- ・普段気付かなかったエコに気が付いた。子供の意識も少し変わった。
- ・わが家から積極的に環境保全に役立つ行動をしていこうという意識が芽生えた。

草加市地球温暖化対策実行計画の策定

市では、温室効果ガス排出量の削減を推進するため、平成24年3月に草加市地球温暖化対策実行計画を策定しました。この計画をもとに「みんなの行動でつくる地球にやさしい低炭素なまちそうか」の実現に向けて、

市民、事業者の皆さんと共に一丸となった取組を進めています。

※本計画は、草加市ホームページでご覧いただけます。また、概要版は、環境課で配布しています。

削減目標

2020年度までに1990年度比で市内の温室効果ガス総排出量を10%削減する。

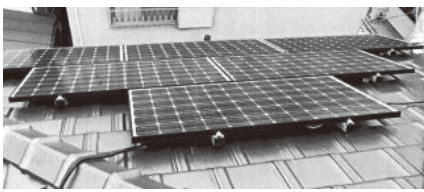
【市の取組例】

①草加市地球温暖化防止活動補助金の交付

市では、市民に自然エネルギー等を有効に利用してもらい、環境への負荷の少ないライフスタイルへ転換していただくため、次のとおり、地球温暖化防止の取組に対し、その経費の一部を助成しています。

平成24年度は、太陽光発電システム設置308件、高効率給湯器等購入15件、雨水貯留施設設置4件の助成を行いました。

※詳しくは、4面をご覧ください。



太陽光発電システム



雨水貯留施設

②市有施設における太陽光発電等の導入

再生可能エネルギーの導入拡大を図るため、次のとおり、市有施設における太陽光発電等の導入を行っています。

○太陽光発電システム

市役所本庁舎 小学校1校 他4施設

○雨水利用

市役所西棟 小学校5校 中学校1校 保育園1施設 他17施設

○太陽熱利用温水器

小学校3校 他3施設

③公共施設の屋上緑化推進

ヒートアイランド現象緩和のため、市役所本庁舎、小学校2校、中学校1校、他4施設において屋上緑化を行っています。

主な内容

- できることからはじめよう！！
- 草加市地球温暖化対策実行計画の策定
- 平成24年度草加市環境基本計画の取組状況
- 環境負荷低減のための活動を支援します
- 光化学スモッグにご注意を！
- PM2.5ってなに？
- 野外焼却は禁止です
- 夏の温暖化防止対策キャンペーンにご協力

市では、「人と自然が共に生きるまち そうか」を目指して平成11年に「環境共生都市宣言」をしました。この宣言の実現に向けての基本的な考え方を示す「草加市環境基本条例」を制定し、この宣言と条例を実現するための「草加市環境基本計画」を策定しています。平成22年3月には、わかりやすく取り組みやすいように現状に合わせた見直しを行い、市民、事業者、行政（市）の三者で協働して取組を推進しています。

この草加市環境基本計画における平成24年度の実施状況をお知らせします。

Ⅱ.身近な自然の保全と創造

市内に残されている樹林や農地、河川、水路などの自然環境は、生物が生息する空間であるとともに、市民の皆さんが身近に自然とふれあえる場です。このため樹林や農地、河川等を活用し保全・創出を図りつつ、自然と共生するまちづくりを推進しています。

自然観察レポーターだより

市内在住の自然観察レポーターから毎月寄せられるレポートをまとめ、小・中学校や公民館・図書館等に配布しました。珍しいものも含め野鳥や植物の説明と写真が掲載されています。



ヤゴの救出作戦

市内の小・中学校のプールに生息するヤゴ（トンボの幼虫）を救出し、トンボに羽化させる「ヤゴの救出作戦」を6校で646人の児童・生徒と実施しました。

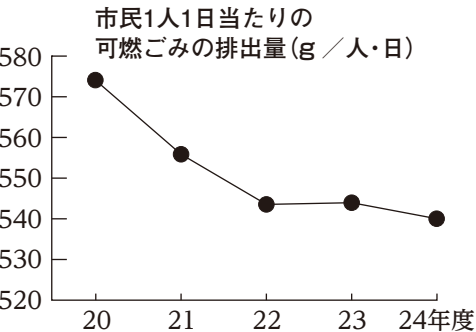
学校ビオトープを整備

生物の生息空間（ビオトープ）を守り、復元・創出し、それぞれをネットワーク化させることは、地域に豊かな自然を取り戻す有効な手法です。環境学習の場と生きものの生息空間を提供するため、学校ビオトープを整備しています。平成24年度は、高砂小、草加小、綾瀬川バードサンクチュアリの改修を実施しました。



ヤゴの救出作戦

Ⅲ.環境への負荷の少ない循環型社会の構築



廃棄物の現況

平成24年度の市民1人1日当たりの可燃ごみの排出量は540gでした。市では、ごみの減量化と資源の再資源化を目的に、びん、かん、ペットボトルの分別収集、古紙回収等の奨励金制度の実施などを行っています。

ごみ減量、循環型社会のキーワードは3R(スリーアール)!

3Rとはリデュース(Reduce・ごみを減らそう)、リユース(Reuse・くり返し使おう)、リサイクル(Recycle・資源として再利用しよう)を指します。毎日の生活の中で排出されるごみ(廃棄物)問題を考えていく上で、ごみと資源にかかわる問題を解決する大切な”キーワード”とされています。日頃から限りある資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減させる循環型社会を実現するため、ごみの減量に皆さんのご協力をお願いします。

Ⅳ.地球環境の保全

地球環境問題の状況

地球環境問題は、その影響が世界規模に広がり、また次世代に及ぶのが特徴で、特に『地球温暖化』は世界的に異常気象を引き起こし、海面の上昇や食糧生産等に悪影響を与えるとわれ、対策が急務となっています。私たちが変えてしまった地球環境を、良い環境へと変えていけるのも私たちです。

地球温暖化対策の取組

市では、法律に基づく2つの草加市地球温暖化対策実行計画を策定し、二酸化炭素(CO₂)排出量削減の取組を環境マネジメントシステム(EMS)の運用により進めています。一つ目は「事務事業編」で、平成12年度に「草加市環境にやさしい庁内率先実行計画」を策定して以来、市自らが環境配慮を実践する事業所として、CO₂排出量削減に取り組んでいます。平成24年度は、平成22年度を基準として、CO₂換算434トンの削減(−2%)を目標として取り組み、4,575トンの削減(−21.1%)の成果を得ました。二つ目は「区域施策編」で、平成24年3月に策定し、市内全域での温室効果ガス総排出量について、2020年度までに1990年度比10%削減を目標として取組を進めています。

環境共生都市宣言の推進

「草加環境推進協議会」と協働で、環境フェア、綾瀬川再生21事業の実施や家庭で簡単にに取り組める「草加わが家の環境宣言」、エコライフデー埼玉の取組を進めています。平成24年度の「第7回草加環境フェア」では、野口邦和氏の「放射能の正しい知識と食の安全～放射能から家族を守るために～」をテーマにした講演会、エコ活動を実施している団体・企業のブース展示や低農薬野菜・小松菜B級グルメの販売、古着・古布の回収等を実施し、約270人の市民が参加しました。また、エコライフデー埼玉については、夏と冬に行われますが、平成24年度冬の草加市の参加者は30,081人で、埼玉県内で2位でした。

Ⅴ.環境学習の推進

子ども自然観察教室

毛長川と日高市の高麗川で、川の汚れや生物の生息状況を調べました。6日間で延べ73人が参加しました。



子ども環境サミット

私たちをとりまく環境問題について、獨協大学生による講演や、小・中学校の児童・生徒による研究事例発表などが行われ、205人が参加しました。



学校給食用牛乳パック再資源化事業

児童・生徒に活かした環境教育を推進するため、市内全小・中学校を対象に給食用牛乳パックを回収して、トイレトロールに再生する再資源化事業を実施しました。回収した牛乳パックは、市内の製紙工場の協力で17,472個のトイレトロールと交換され、回収量に応じて各学校に配られました。

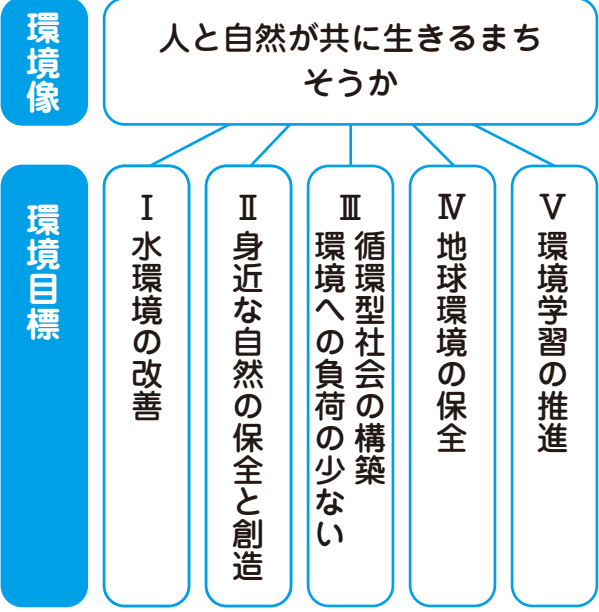
市民講師や市職員による出前講座

学校や地域での環境学習の一助となるよう、市民講師や市職員による出前講座を実施しています。平成24年度は、地域の自然観察や地球温暖化対策、環境工作等の講座を9回実施し、544人の児童・生徒が受講しました。



平成24年度草加市環境基本計画の取組状況

環境基本計画体系図



☆環境基本計画の概要

目的
市民、事業者、行政にとって、共通の目標となる環境の将来像「人と自然が共に生きるまち そうか」の実現を目指し計画を策定しました。

取組主体
今日の環境問題を解決し、私たち、そして、次世代にとって快適な生活が送れる「環境にやさしいまち」をつくるために、市民、事業者、行政の三者で協働して取り組みます。

取組期間
計画の目標期間は、草加市の他の計画（「草加市総合振興計画」や「草加市都市計画マスタープラン」等）と整合性を図り、平成27年までとしています。社会・経済情勢の変化等に対応するため5年ごとに見直しを行い、平成22年3月に改定しました。

草加市環境基本計画達成目標に対する平成22～24年度実績

目 環	環 境 指 標	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 (平成27年度)
水環境の改善	河川の水質(BOD75%値)				
	綾瀬川(中曽根橋)	4.5mg/ℓ	4.4mg/ℓ	4.4mg/ℓ	3.5mg/ℓ
	綾瀬川(手代橋)	4.6mg/ℓ	4.7mg/ℓ	4.5mg/ℓ	3.5mg/ℓ
	古綾瀬川(綾瀬川合流点前)	4.5mg/ℓ	7.2mg/ℓ	7.9mg/ℓ	5.0mg/ℓ
	伝右川(伝右橋)	3.4mg/ℓ	3.6mg/ℓ	3.6mg/ℓ	3.5mg/ℓ
	毛長川(鷺宮橋)	3.2mg/ℓ	3.8mg/ℓ	3.7mg/ℓ	3.5mg/ℓ
	辰井川(上町境橋)	5.6mg/ℓ	4.1mg/ℓ	5.7mg/ℓ	5.0mg/ℓ
	公共下水道普及率	90.7%	90.8%	91.3%	94.5%
	多自然型護岸の河川延長(葛西用水等)	5.72km	6.11km	6.11km	7.0km
	確認された魚等の種類÷目標種類(15種類)	80%(12種類)	80%(12種類)	80%(12種類)	86.7%(13種類)
身近な自然の保全と創造	ビオトープの整備面積及び箇所数	62,900㎡ 16箇所	62,928㎡ 17箇所	62,928㎡ 17箇所	67,900(累計) 21箇所
	市の面積に対する緑地の割合	9.6%	9.7%	9.7%	11.6%
	市民1人当たりの都市公園面積	1.77㎡/人	1.77㎡/人	1.77㎡/人	3.7㎡/人
循環型社会の構築 環境への負荷の少ない	市民1人1日当たりの可燃ごみの排出量	543g/人・日	544g/人・日	540g/人・日	550g/人・日
	資源化率(ビン・カン・古紙類等)	20.4%	20.5%	19.9%	20.8%
	市におけるグリーン購入の実績	99.7%	99.9%	98.0%	100%
	太陽光発電システムの年間発電量	2,922,669kWh/年	4,331,233kWh/年	5,945,071kWh/年	4,000,000kWh/年(累計)
	環境調査の環境基準達成割合(大気、水質、ダイオキシン類等)	86.1%	88.9%	92.1%	94.4%
地球環境の保全	市の施設から排出される温室効果ガスの量(二酸化炭素換算量)	21,707トン (11.4%増)	16,787トン (22.6%減)	17,132トン (21.1%減)	18,000トン (20年度比7%減)
	保有車のエコカーの割合(市役所)	21.0%	20.0%	19.0%	50% (特殊用途車を除く)
	エコライフに取り組んだ市民の数及び二酸化炭素削減量	40,433人 (対人口比16.6%) 28,472kg	51,772人 (対人口比21.2%) 37,338kg	58,861人 (対人口比24.1%) 41,912kg	36,000人 (対人口比15%) 30,000kg
	ISO14001等取得による環境活動取組事業所数	49事業所	49事業所	51事業所	70事業所
	地球環境に関するフォーラム等の参加者数	6,845人	7,237人	7,712人	8,000人(累計)
環境学習の推進	環境学習に係る講座等の開催数	124回	163回	199回	350回(累計)
	環境学習参加者数	11,606人	14,263人	16,629人	38,000人(累計)

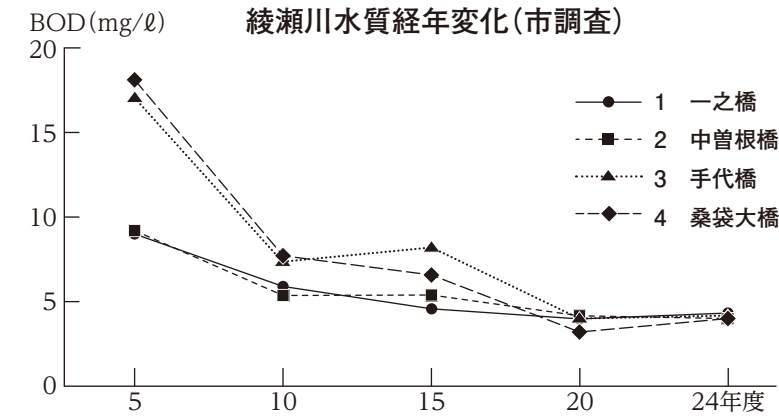
I .水環境の改善

河川水質汚濁と浄化対策

市内の河川の水質浄化のため、市では公共下水道の普及や工場の立入指導、浄化施設の設置を行うとともに、国の事業として、荒川から綾瀬川への浄化用水の導入や利根川から見沼代用水ルートを通じて、冬期試験通水を行っています。

また、国、県、流域自治体等で構成する「綾瀬川清流ルネッサンス連絡会」、「綾瀬川浄化対策協議会」において、広域的な取組も進めています。

このような取組の結果、河川水質は、下図のように、少しずつ良くなり、過去20年間のBOD値の改善幅による河川水質改善状況では、全国で第1位となりました。



※BOD(生物化学的酸素要求量)
微生物が水中の汚れ(有機物)を分解するときに消費される酸素の量を表したものの。この数値が大きいほど、汚れていることを示します。

河川の清掃活動、啓発活動等

綾瀬川の水質浄化対策の一環として、FSCサルベージ協会や地域町会等の積極的な協力のもと綾瀬川流域の清掃(綾瀬川流域クリーン大作戦)を行っています。また、Eポートによる水上探検など川に親しみを抱いてもらう「綾瀬川再生21事業」「綾瀬川クリーンプロジェクト」や「みんなで水質調査」「エコクッキング教室」「綾瀬川源流ウォッチング」等の河川浄化意識の向上を目指した啓発活動等を実施しました。

東京葛西用水にて水辺環境の再生に向け「川のまるごと再生プロジェクト」展開中

「川のまるごと再生プロジェクト」は平成24年度から平成27年度までの期間で、市と県が連携して進めている事業です。1つの川を市全域やその川に関連する複数の市域「まるごと」を対象にして、川の再生とまちづくりを一体として行おうとするもので、越谷市、草加市、八潮市の3市で提案を行った東京葛西用水が、県内10箇所の中の一つとして選定されました。

市では、平成元年から東京葛西用水の整備を行い、親水護岸やデッキの整備など水辺の再生を進めてきました。「川のまるごと再生プロジェクト」についてもさらに親水護岸やデッキ等の整備を行い、快適で潤いのある水辺のまちづくりを推進していきます。



整備前



整備後

環境負荷低減のための活動を支援します

地球温暖化防止活動補助金

資源の消費を抑制し、自然エネルギーを有効利用する次の活動を地球温暖化防止活動として位置づけ、補助金を交付します。

- 屋上又はベランダの緑化活動…要した費用の1／2で限度額1万円
- 雨水貯留施設設置…要した費用の1／2で限度額1万円
- 高効率給湯器等の購入…要した費用の1／2で限度額1万円
- 太陽光発電システムの設置…出力1キロワット当たり1万円、限度額は7.0キロワット7万円

※一般家庭で使用するものを対象とし、店舗や事業所等で使用するものは、対象になりません。

補助対象者

- 1 市内に居住し、かつ、住民基本台帳に記載されている者であること。
- 2 補助金申請時に市税を滞納していないこと。(完納のみ、分納不可)
- 3 「草加わが家の環境宣言」に取り組み、チェックシートを提出すること。

交付申請手続き

- ①購入・設置工事をする前に補助金交付申請書を必ず提出してください(郵送不可)。購入後の申請は受け付けできません。
- ②市で申請内容を審査し、補助要件に合致した場合、補助金交付決定を行います。
- ③補助金交付決定通知を受け取った後に、購入・設置工事開始となります。
※現地確認が必要な場合はご協力をお願いします。
- ④購入・工事完成後、市へ実績報告書を提出してください(平成26年3月末日まで)。
- ⑤市で審査のうえ、審査要件に合致すれば補助金交付額の確定を行い、通知します。
- ⑥市へ補助金請求書を提出します。
- ⑦補助金を交付します。

※申込が予算に達した時点で締め切ります。

※詳しくは、草加市ホームページ [地球温暖化防止活動補助金](#) [検索](#)

光化学スモッグにご注意を！

市では、光化学スモッグ注意報や警報が発令された場合には、公共施設等に掲示して、皆さんにお知らせしています。

光化学スモッグ注意報等が発令されたときは、次のことに注意するとともに、被害を受けた場合は保健所又は市役所に連絡してください。

- ★外出や屋外での運動を避け、また、自動車の運行を控えましょう。
- ★目、のどに刺激を感じたら屋内に入り、洗眼、うがい等を行いましょう。

PM2.5ってなに？

PM2.5による大気汚染について関心が高まっています。PM2.5とは大気中を浮遊する粒子状物質のなかでも粒径が2.5マイクロメートル以下の特に小さい物質のことです。人の髪の毛の太さが70マイクロメートル程度といわれますので、その30分の1程度の大きさです。これは物質の種類ではなく粒子の大きさによる定義であり、PM2.5には様々な成分が含まれています。

PM2.5は、工場などから出るばい煙や自動車の排出ガスなどに含まれるほか、大気中のガス成分から光化学反応で生成されることもあります。また、人の活動に伴うもののほか、自然由来のものもあります。

PM2.5は粒径がとても小さく、呼吸器の奥深くまで入り込みやすいことなどから、健康への影響が懸念されています。具体的にはぜん息、気管支炎などの症状を引き起こすといわれています。

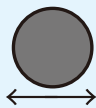
埼玉県では、PM2.5の1日平均値が70マイクログラム（1立方メートルあたり）を超えるおそれがある場合、注意喚起情報が出されることとなりました。県から情報が出された場合、草加市では公共施設等に掲示して、皆さんにお知らせします。

PM2.5の数値が高いときには次のことに注意してください。

健康への影響を減らすため

- ◎外出をできるだけ減らしましょう。
 - ◎屋外での長時間の激しい運動を控えましょう。
 - ◎換気や窓の開閉を必要最小限にしましょう。
- ※呼吸器系や循環器系の病気のある方、子どもや高齢者の方は影響を受けやすいといわれています。体調の変化に注意してください。

髪の毛(断面) PM2.5



約70μm 2.5μm

野外焼却は禁止です

野外焼却を行うと、人体に悪影響を与えるといわれているダイオキシンを発生させてしまうだけでなく、煙や臭いで気分が悪くなったり、灰で車が汚れたり、布団や洗濯物に臭いや汚れがつくなど、近隣に迷惑をかけることになります。

- 野外焼却は『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』、『埼玉県生活環境保全条例』で禁止されています。

- 廃棄物を焼却するときは法定の焼却施設を使用してください。(事業者の場合は届け出が必要です。)

- 廃棄物は、許可を有する処理業者に委託して処分してください。

市役所には野外焼却に対する臭いや煙の苦情が多く寄せられています。草加市の環境を良くするためには、市民の皆さん一人ひとりの取組が大切です。ご理解、ご協力をお願いします。



夏の温暖化防止対策キャンペーンにご協力を

冷房の使用で、電力を始めとしたエネルギーの消費量が増える夏、埼玉県では温暖化防止のためのキャンペーンを実施しています。

地球温暖化を防止するためには、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出をできるだけ抑える必要があります。

1 夏のライフスタイルの実践

●キャンペーン期間 5月1日～10月31日

冷房時の室温を28℃に設定し、グリーンカーテンで日差しを防ぐなど、涼しく過ごす工夫をしましょう。

オフィスではノーネクタイ、ノー上着の軽装で業務をしましょう。また、部分消灯の徹底や待機電力のカットに取り組みましょう。

2 夏のエコライフDAY

●キャンペーン期間 6月1日～9月30日

「この日は、一日環境によいことをしよう」と決めて、「エコライフDAY」を実行してみませんか。

学校単位などで参加でき、チェックシートは、市役所環境課で配布します。個人で参加される場合は、埼玉県温暖化対策課のホームページからも参加できます。

(<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/ecolifeday.html>)

3 家庭の電気・ガスダイエット

7～8月の2か月間、節電又は節ガスを実践していただき、電気又はガスの検針票を応募用紙に貼ってご応募してください。

節電・節ガスの上手な上位の家庭には、ステキな賞品をプレゼントします。また、抽選で賞品が当たるチャンスもあります。

お問い合わせ：埼玉県環境部温暖化対策課 ☎048-830-3038

「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン2013」実施について

環境省では、6月21日から7月7日まで「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン2013」を実施します。

同キャンペーンは2003年より実施され、地球温暖化防止を全国に呼びかけてきました。キャンペーン期間中の6月21日（夏至の日）と7月7日（クールアース・デー）両日を特別実施日に指定し、夜8時から10時までの2時間、施設や各家庭では照明の消灯にご協力をお願いします。

※詳しくは、ライトダウンキャンペーンホームページ

(<http://coolearthday.jp>) へ。